

願いが実現し、「住民が主人公」 の市政前進に尽力



多彩な施策を **提案** して **実現**

国保税の減免制度が実効あるものになりました
 「解放同盟」への団体補助金が完全廃止されました
 15m 超「中高層建築物に関する条例」制定
 (建築主に住民説明責任等を定める。県内初)
 不登校対策、適応・学習指導改善教員の増員
 (中学校2校に一人の配置)
 予算編成過程の事前公表、参画
 パブリックコメント(意見募集)制度導入
 松本市消費生活センターの設置
 生活保護行政 ホームレス対策、「くらしの資金」の充実

「買い物や病院へ行くのに
 交通手段がなく不便です。
 実現と聞いて本当にうれ
 しいです。」 (清・女性)

タウンズニーカー
 「西口」コース実現



4年前にご要望の強かつ
 た「西口」コース。開設
 予算がつかしました。

皆さんとともに、 安心安全な地域づくり

カーブミラー・道路側溝整備

「交通量が多く、見通しが悪く交
 差点に進入しないと左右確認できま
 せん。」「急に車が出てきて大変怖い
 です」

運転手からも歩行者からも危険性
 が指摘されていた地元の交差点。
 カーブミラーを設置することができました。



ホームページ で市政の様子を
 お知らせしています。

<http://www.mhl.janis.or.jp/~k-ikeda/>



「議会の様子がタイムリー
 にわかる」「医療や福祉など
 身近な情報が満載。資料に
 使ってます」・・・と
 好評です。
 ぜひ一度、ご覧ください。

「池田国昭」と検索してください



参議院議員
井上さとし

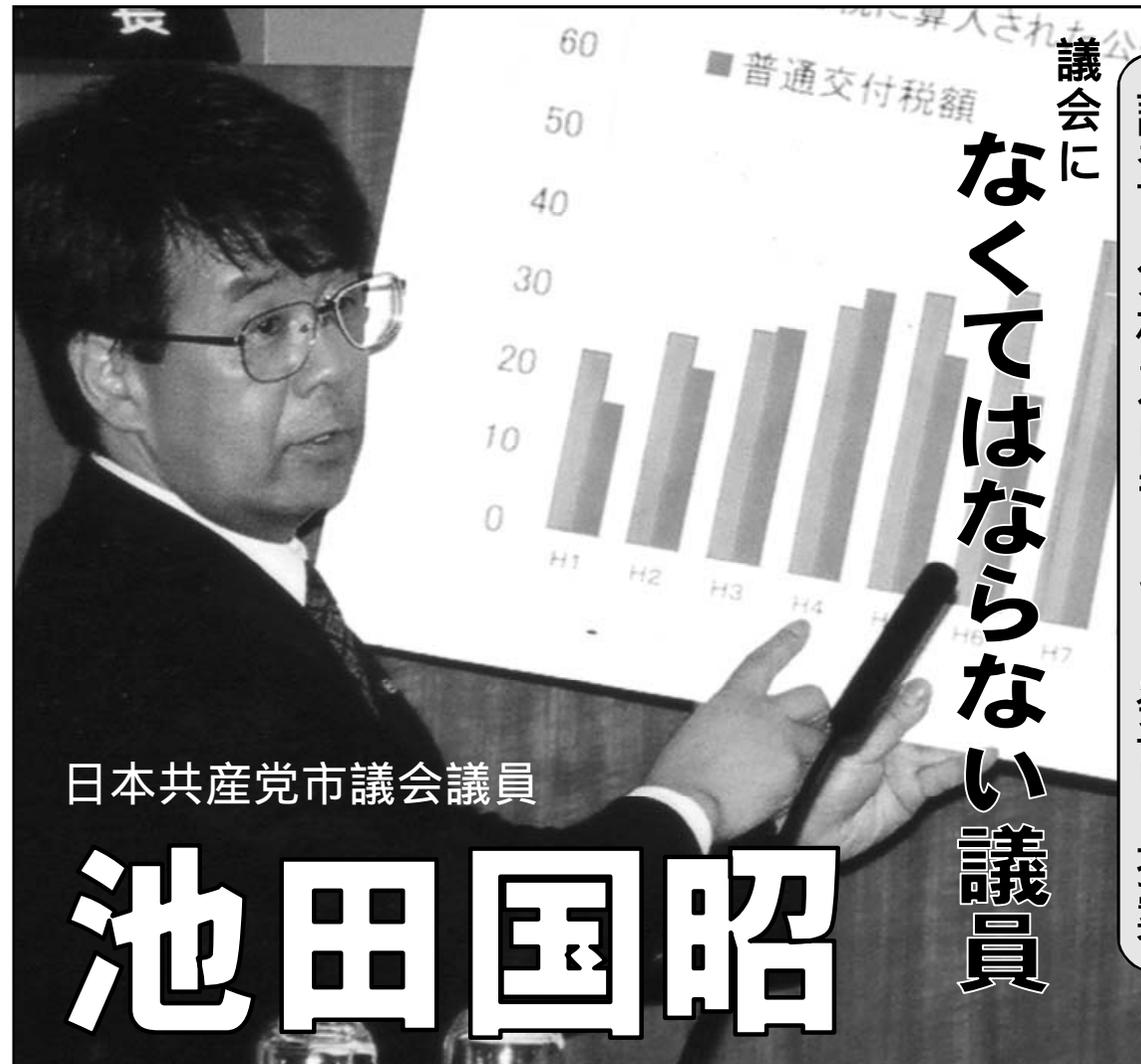


党県女性・児童部長
中野さなえ

悪政とキッパリ対決する たしかな野党 **日本共産党**

参議院選挙
 制度解説

- 1回目 選挙区の投票は候補者名で
- 2回目 比例代表の投票は政党名で
政党名でも個人名でも投票できます



調査と分析力にもとづく発言・提案

議会で
 なくてはならない
 議員

日本共産党市議会議員

池田国昭

「このままでは、つぶされてしまいそう」

自民・公明の悪政の結果、市民税増税、国保税・介護保険料の負担が増えての悲痛な叫び
 声です。

一方、大企業・大銀行は、「バブル期」以上の利益を上げながら、税金は軽減、中には「ゼ
 ロ」のまま。民主党も経団連と更なる企業減税を約束しています。

まさに「大企業栄えて民滅ぶ」事態。こんな政治に未来はありません。

今年は春の一斉地方選挙に続き、夏には参議院選挙が行なわれます。自公政権の悪政から、
 市民の暮らし、命を守る市政をさらに前進させ、そして国の政治も同時に変える12年に一
 度のチャンスの年です。

私は、みなさんと力を合わせて、市民のくらしと福祉、子どもと教育を守るために頑張る
 決意です。

略
 歴

1952年中野市生まれ(54歳)、信州大学理学部数学科卒。在学中は
 学生自治会委員長として学生運動、平和運動に参加。日本共産党に
 就職、しんぶん「赤旗」の仕事に従事。1987年34歳で松本市議
 会議員に初当選。鎌田小・中学校PTA会長を歴任。現在、松本市議
 会議員(5期)、松本協立病院理事、党中信地区副委員長。
 家族は妻(松本協立病院勤務)、3男と妻の母。井川城在住。

松本民報 2007年
 春季号外

発行 日本共産党松本市議団
 連絡先 松本市井川城1-5-3
 TEL.27-1122
 日本共産党の見解を紹介します。



みなさんの願い 市政へ届け



くらし、福祉優先の市政の前進に 大きな力を発揮

市民負担増問題

国の悪政から
「市民のくらしをまもる施策を」
議会で唯一提案

住民税や国保税、介護保険料の負担の急増に、「これでは暮していけない」と悲鳴と怒りが湧き起こっています。日本共産党は、この問題を昨年一年間繰り返し議会で取り上げ、粘り強く対策を求めてきました。

市長の認識も変化

6月議会 「景気が回復すれば格差は解消する」

12月議会 「国の法「改正」による制度的格差は景気の回復だけでは改善しない」

一貫して主張

一般会計からの繰り入れで、国保税、介護保険料の引き下げを提案

国民健康保険証

安心して医療が受けられる市政へ

政府は国保税を納めない世帯から国保証を取り上げることes市町村の「義務」としてきました。かつて松本市は、それに従い国保証を取り上げ、窓口10割負担の資格証明書や短期保険証の発行数が県下でも一番多い市政となっていました。

日本共産党はこれまでも一貫して国保証の取り上げに反対し、菅谷市長に対しても「国保証は命のパスポート」と議会で提案、国保税が納められない世帯にも国保証が交付されるようになりました。

有賀市政 ・資格証明書99件、短期保険証3438件（平成15年度）の冷たい市政。

菅谷市政 ・資格証明書0件、短期保険証は半減（平成18年10月現在）に前進。
・一般会計から国保会計へ5億200万円繰り入れで値上げを抑える。

社会保障制度

介護保険、自立支援改悪から
低所得者の負担を軽減

05年10月から介護保険で利用する施設の居住費・食費が全額自己負担に。日本共産党は「市が独自の減免制度をつくり負担を軽減する対策が必要」と議会で提案。全国に先駆けて介護保険の負担軽減が実現しました。

自立を「阻害」する自立「支援」法に対しても、同様の減免制度が実現しました。

「介護ベッドを取り上げないで」

昨年10月の介護保険の制度改悪で、車イスや介護ベッドが貸与されなくなりました。日本共産党は高齢者の声をただちに議会で取り上げ、チラシ配布で市民に知らせ、市民の運動とも結んで低所得者へのレンタル料の補助が実現しました。



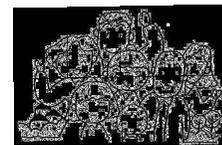
税金の使い方

ムダな大型公共事業中心から
くらし、福祉優先へ

有賀市政 国いいなりで「市民芸術館」などの大型公共事業を推進。市の借金は3期12年で2倍に膨れ上がり、財政は「赤信号」に。

菅谷市政 大型公共事業中心の予算を見直し、くらし・福祉優先へ税金の使い方を切りかえる。3年連続で市の借金を減らしました。

日本共産党は、多くのみなさんと力を合わせ、菅谷市長誕生に力を尽くし、税金の使い方を切り替えてきました。



市民の世論と運動で 数々の願いが実現



- 保育料の引き下げ
- 乳幼児医療費無料化を就学前まで所得制限を撤廃
- 子育て支援課の開設
- スケートボード場建設
- 借金を減らし生活道路など足元工事費を増額
- etc.

具体的な提案を行い市政を動かす 市民のいのち、くらしにとって かけがえのない議席

これからも、全力で頑張ります

日本共産党松本市議団

